

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館6階

TEL03 (6261) 9139 FAX03 (6261) 9133

<https://www.precut-kyokai.com>

協会の会長が交代しました



【日當新会長】

3月2日に令和7年度第3回理事会を開催しました。前任の工藤様から健康上の理由で会長の辞任届が出されたので、理事会はこれを受理することとし、協会定款の規定に基づく理事の互選により、全会一致で久慈プレカット事業協同組合の日當和孝様を新しい会長に選定しました。理事会では、この他に令和8年度の事業計画及び収支予算、第17回定時社員総会及び令和8年度第1回理事会の開催並びに同総会の審議事項等を決議しました。令和8年度の事業計画では、プレカット工場を取り巻く厳しい状況が続く中で、協会会員の工場が住宅生産者から選ばれる工場となるための取組が重要として各般の事業を計画しました。

また、理事会の議決により、第17回定時社員総会を6月22日(月)に、協会事務局を置く全国町村議員会館で開催することとなりました。また、総会に合わせて、近年会員の関心が高まっている外国人の育成就労・特定技能制度についての講演会を開催することとなりましたので、会員各位多数のご出席をお待ちしています。

外国人育成就労・特定技能制度の講演会のご案内

協会の第17回定時社員総会の開催に合わせて以下のとおり講演会を開催しますので、会員各位のご参加をお待ちしています。

○日時：令和8年6月22日(月) 16時～17時

○場所：全国町村議員会館(東京都千代田区一番町25)

講師：池邊正一郎氏 (株) ワールドینگ執行役員

- ・「木材産業分野の特定技能制度」に係る全木連の事務局メンバー
- ・2025年11月6日に林野庁が開催した「木材産業分野 外国人材受入れセミナー」の講演者で、「特定技能制度の全体像、特定技能外国人採用時の注意点、登録支援機関の選び方、受入れのための社内環境整備等」について説明、この分野の第一人者

演題：育成就労・特定技能制度における外国人雇用の実相と留意点
～これからの外国人の雇用のあり方

林野庁セミナー時の講演をアップデートし、もっと詳しいお話しが聞けるものと期待しています。特に、これから外国人採用の検討を本格化される方は必見です。

令和7年度会員プレカット工場基礎調査の集計結果(第1回報告)

令和8年2月に協会A会員を対象に、令和7年12月末現在についての調査を行いました。ご協力いただきました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。調査の結果につきまして、これからプレカットニュースの紙面で報告して参ります。(調査回答数:36社、回収率:71%)

第1回報告では、「1事業内容」として会員工場におけるAQ表示の対応状況と工場に保有される加工機械の種類・数量、加工の実績等についての集計結果を報告します。

1 事業内容

○ 構造材にAQ表示を行っている工場の割合は14%、その平均の表示割合は34%

加工内容	対応工場の割合	1工場当たりのライン	所有機械のメーカー別の割合	加工実績(月平均)		加工部位毎の対応状況	月の平均稼働日数(日)
				(坪/工場)	(棟/工場)		
(1) 軸組： ①構造材・横架材	89%	2.4	宮川工機：69% 平安コーポレーション：28% その他：3%	6,060	190		22
・柱材	97%	2.3	宮川工機：67% 平安コーポレーション：23% その他：10%	5,955	186		22
・複合	33% (併用を含む)	1.3	宮川工機：69% 平安コーポレーション：31%	4,007	120		22
・ロボット	58% (併用を含む)	1.4	宮川工機：82% 平安コーポレーション：7% その他：11%				
②羽柄材	94%	2.8	宮川工機：67% 平安コーポレーション：23% その他：10%	3,256	110		22
③金物工法	72% (併用を含む)	1.7	宮川工機：47% 平安コーポレーション：47% その他：6%	1,847	58		22
(2) 2×4	8%	2.3	宮川工機：14% その他：86%	2,770	52		24
(3) 大断面	22% (併用を含む)	2.1	宮川工機：60% 平安コーポレーション：7% その他：33%				
(4) 合板等面材	92%	2.7	宮川工機：69% 平安コーポレーション：24% その他：7%	4,645	144	床：88% 野地：85% 壁：30%	23
(5) トラス	14%		(併用を含む)				
(6) サイジング	3%		(併用のみ)				
(7) その他	3%						

(注) (4)合板等面材の「加工部位毎の対応状況」の欄は、例えば「合板等面材の加工に対応している工場のうち、『床』のプレカットを行っている工場は○○%ある」旨を示したものです。

プレカット業況調査 (令和8年2月期)

(一社) 全国木造住宅機械プレカット協会会員調査 (回答率: 57%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回 DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	10	34	55	-45	+30
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	29	54	18	+11	+13
2-1 貴社の坪当たりの構造材の平均加工単価はいくらですか。	全体平均: 5,200円 (前回: 5,300円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	93	3	±0	-4
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	0	89	11	-11	-8
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	21	79	0	+21	+21
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	14	79	7	+7	+25
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	38	59	-56	+4
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	25	50	25	±0	-42

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好調、-の数値が大きいほど不調。

*前回調査: 令和7年11月

【調査結果の分析】

今月の受注額と収益は前回と比べて大きく悪化しました。3ヵ月後は、受注額が好転に転じるものの、収益は±0で好転・悪化が拮抗する予測となりました。

- 1 今月の受注額は-45で大きく悪化しました。3ヶ月後は+11で好調に転じる予測となりました。
- 2 今月の構造材の加工単価(全体平均)は5,200円で前回比-100円となりましたが、DIでは±0で好転・悪化が拮抗しています。3ヵ月後の製品加工単価は-11で悪化する予測となりました。
- 3 今月の資材入手状況は+21の容易、3ヵ月後も+7と継続する予測となりました。
- 4 今月の収益は-56に大きく悪化しましたが、3ヶ月後は±0で好転・悪化が拮抗する予測となりました。

令和7年度プレカットCAD技術者研修を開催



【2月18日の演習コースの一コマ】

令和7年度プレカットCAD技術者研修を1月28日から3月5日まで延べ10日間、213名（うち会員が90名）の受講者を得て盛会に開催しました。

1級コース（経験年数10年程度以上）、2級コース（経験年数3～10年程度）、3級コース（経験年数3年未満程度）に分けて、それぞれに求める経験と能力を踏まえた「プレカットCAD技術者基準」に応じた研修内容としました。

また、対面形式の「演習コース」では、2級レベルの者を対象に演習を中心とし、加えて近年関心の高まっている非住宅にポイントを置いたカリキュラムとしました。

いずれの研修でも、昨年4月の改正建築基準法の全面施行を受けて、それぞれのクラスに応じた制度の変更点や構造基準のポイント解説や計算ソフトの使い方など明日からの業務にも役立つ内容としました。また、1級コースや演習コースでは、プレカット工場の現状と課題、そして対応状況についての意見交換や情報交換も行いました。

【この研修が求めるプレカットCAD技術者像】

3級	2級	1級
<ul style="list-style-type: none"> ・木材の種類、性質を知っている ・伏図作成に当たって力の流れをイメージできる ・伏図から3次元の軸組がイメージできる ・入力時に図面の問題点・要注意点を見抜くことができる など 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の品質・性能を比較できる ・力の流れをイメージして正しく伏図が作成できる ・相手方伏図の問題点が指摘できる ・プレカットCADからのNGの原因がわかる など 	<ul style="list-style-type: none"> ・CAD部門の責任者・グループ長に就く経験・能力がある ・問題のある伏図に対して修正案が提示できる ・プレカットCADからのNGの最終修正を行うことができる ・木構造の耐震性を見抜く力がある など

（注）「プレカットCAD技術者基準」より抜粋

～ 事務局だんらん（その11）～

【話題】価格転嫁と取引適正化の取組

林野庁において、令和7年11月、木材の価格転嫁と取引適正化に向けて「林業・木材産業における適正取引推進ガイドライン」が策定されました。ガイドラインでは、木材取引の実態を踏まえ、価格転嫁を阻害する商習慣の是正に向けて、望ましい取引の在り方等が整理されました。

また、令和8年1月1日から中小受託取引適正化法（取適法）や受託中小企業振興法が施行され、価格転嫁や取引適正化に向けた政府の取引が進められています。

政府全体の取組として、業界団体に対して、取引適正化等に向けた自主行動計画の策定が求められています。木材産業では、（一社）全国木材組合連合会において、令和7年11月に自主行動計画が策定されました。その計画では「取引先及びサプライチェーンのさらに先の業界の中央団体に対し、全木連及び全木協連の自主行動計画を通知し、当該業界の自主行動計画との連携を図るとともに、協力を働きかける」とされており、住宅業界に対しても自主行動計画の策定が求められている中で、木材産業全体の取組としての働きかけも計画されている等、取引改善に向けた機運も高まっていくのではないかと考えられます。

このような中で、個々のプレカット工場においても、積極的に価格交渉を行って、その中で改善が必要と考える事柄を持ち出すことが重要となってきます。法律が出来たから、林野庁のガイドラインが出来たから、協会が促進運動をやっているからとして、個々の価格交渉に持ち出す切っ掛けが出来たらと期待するところです。